ご挨拶

公益財団法人愛媛県体育協会会長　大亀孝裕

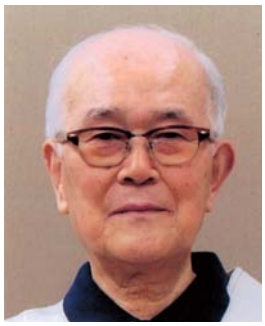
子規の野球殿堂入りを記念して創設された「スポーツ俳句大賞」は、関係者の皆様のお力添えにより、本年で十二回目を迎えることができました。心から感謝申し上げます。この「スポーツ俳句大賞」は、スポーツと文化が融合した新しい芸術文化を愛媛ブランドとして定着させるとともに、スポーツに対する新しい見方、新しい理解者を増やすことを目指しております。

今回から、応募句数を一人五句以内としましたので、俳句部門二千九百四十九句、ハイブリッド部門五十五点、計三千二作品と、例年より若干減少しました。しかし、地域的には全国四十四都道府県からの応募があり、残すところ三県となり、「スポーツ俳句」という文化が徐々にではありますが、愛媛ブランドとして全国に浸透してきたといえます。

さて、平成二十九年開催予定の「愛顔つなぐえひめ国体」は、本年七月に正式に開催決定する予定です。平成十一年から本格的に国体誘致を開始し、やっと正式決定まで辿り着きました。関係者の皆さんのご努力に敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。このえひめ国体は六十四年ぶりの、しかも初めての本県単独開催でありますので、ぜひとも成功させなければなりません。皆様方のご支援をお願いするわけですが、特に俳句愛好者の皆様には、俳句を通して、活躍する選手の感動場面を俳句に詠んでいただきたいと存じます。そのことが選手の励みにもなりますし、えひめ国体を盛り上げることになると考えています。

毎年のことでありますが、「えひめスポーツ俳句大賞」がこのように盛大に開催できましたのは、愛媛県俳句協会をはじめ、報道関係団体、有名ホテル、有名菓子舗、この他にも協力・協賛・後援をいただきました皆様方のご支援の賜物であります。心より厚くお礼を申し上げます。

終わりに、「えひめスポーツ俳句大賞」の発展と「愛顔つなぐえひめ国体」の成功を祈念して挨拶といたします。



講評

審査委員長　髙石　幸平（愛媛県俳句協会会長）

第十二回のえひめスポーツ俳句大賞を選ぶに当り、私ども審査委員は、愛媛県俳句協会役員としての立場から、まずは俳句としての文芸性に重点を置き、選考審査を致しました。この方針は、第九回からはっきりと定め、今回は四年目になります。

スポーツ俳句とは申しながら、俳句は俳句です。まずは俳句としての価値が問われます。これを審査委員全員一致の基準として参ったところであります。

審査結果を申し上げる前に、この大賞につきまして、愛媛県体育協会の皆々様、俳句作家として応募して下さった皆々様、それぞれのご尽力に、心から敬意を表します。

さて、此度の「えひめスポーツ俳句大賞」一般の部は「天高し意地で突っ込むハイパント」（埼玉県・糠谷憲宏さん）が選ばれました。これはラグビーを詠まれたものでありますが、俳句としてのかたち、スポーツとしてリズム感が、見事に融合しております。

ジュニアの部では、俳句大賞に「ぎゅっと持つバトンの色は秋の色」（愛媛県・今井歌乃子さん）が選ばれました。競技種目としては「その他の部」の作品です。感覚が光っております。

一方、ハイブリッド部門の大賞には「陸上競技・天高く驚異の粘りバーを越え」（愛媛県・鳴滝久照さん）が推されました。走高跳の写真と俳句。どちらも立派なものでありました。此の部門は、写真と俳句がそれぞれに立派であること、お互いに説明し合わないことが大切であります。

愛媛県では、平成二十九年（二〇一七）に国民体育大会が開催されます。「えひめ国体」の開催です。

その時、どんな俳句を拝見することが出来ますかどうか、実に楽しみであります。若い人に負けずに一句投じたい気分であります。

審査員講評

田坂　清太（愛媛県俳句協会副会長）

スポーツ俳句にはスポーツをしてる人自身が作った俳句と俳句を作っている人がスポーツをみて作った俳句とがある。「秋天に足を突っ込む逆上がり」の句は後者である。前者ならば「秋天に足を突っ込み逆上がり」となる。さらに、ジュニアならば「秋空に足を突っ込み逆上がり」となるであろう。いずれにせよ「秋天に足を突っ込む」の感性がすばらしい。

スポーツをしている人自身の俳句が増えることを希望する。

松森　向陽子（愛媛県俳句協会副会長）

「青嵐ゴールキーパー横つ飛び」

この作品はサッカーの守護神ゴールキーパーの躍動の一瞬を捉えて作品化しましたが、季語の「青嵐」が情景を効果的に盛り上げ、自然と緊迫したゴールキーパーの動きとが一体化した力強い作品となりました。

俳句の革新を唱えた正岡子規が野球の名前を付けた話はあまりにも有名ですが、欧米のスポーツ導入の盛んな今日、その裾野は劇的な広がりを見せている現状からして、えひめスポーツ俳句大賞は意義深いものがある。

川本　征紀（愛媛県美術会評議員・二科会会員）

スポーツは日々の訓練の積み重ねが目的達成のエネルギーを発散する身体表現です。そのアスリートに対峙するカメラアイはデジタル化の進行と共に回を重ねる毎にシビアになってきました。

大賞作品は陸上競技の走り高跳びです。鍛えぬかれた競技者の宙に舞う姿はこうごうしさを感じる表現の秀作品です。金賞の藤原利忠氏の、「春の風　ボールふわりと　敵かわす」は　巧みなボールさばきがゲームの転換シーンを見事に表現しています。同じ賞の渡邉龍太朗氏の「汗みずく　むしゃぶり付くや　巨木の根」は、レスリングの必死の攻防が手のシーンで表現されています。

えひめスポーツ俳句大賞　受賞作品

俳句部門（一般）大賞

天高し　意地で突っ込む　ハイパレット

埼玉県　糟谷　憲宏

俳句部門（ジュニア）大賞

ぎゅっと持つ　バトンの色は　秋の色

愛媛県　今井　歌乃子

ハイブリッド部門　大賞

天高く
驚異の粘り
バーを越え

愛媛県　鳴　滝　久　照

「報道関係賞」

NHK松山放送局賞

一　般

ラガー駆け
抜けり白線
蹴ちらして

（徳島）長山　敦彦

ジュニア

セミの声
コートの中で
消えていく

（長崎）横田　瑞貴

愛媛新聞社賞

一　般

炎天の
死角逃がさぬ
スマッシュよ

（愛媛）北村　知江

ジュニア

二じゅうとび
十回ちょうせん
秋の朝

（愛媛）河端　孝紀

南海放送賞

一　般

新記録
待つフィールドや
夏の雲

（岡山）信安　淳子

ジュニア

父さんと
キーパー練習
春浅し

（愛媛）森岡　夢次

テレビ愛媛賞

一般

ホールインワン
称え合ふ
紅葉晴

（愛媛）稲井　達夫

ジュニア

にじむ汗
拭いてラケット
持ち直す

（青森）宮木　利幸

あいテレビ賞

一般

すり抜けた
シャトルコックや
心太

（愛媛）渡部　勲

ジュニア

炎天に
負けぬ力投
する少女

（青森）竹内　彩香

愛媛朝日テレビ賞

一般

秋天に
足を突っ込む
逆上がり

（岡山）植田　貞子

ジュニア

秋晴れの
大地をけって
風になる

（愛媛）大西　剛生

FM愛媛賞

一　般

速攻の
片足タックル
汗光る

（愛　媛）森田　千重子

ジュニア

夏休み
プールに向かって
走り出す

（愛　媛）佐々木　柊斗

愛媛CATV賞

一　般

面取れば
汗の少女で
ありにけり

（愛　媛）浜田　邦雄

ジュニア

ゴールライン
あと一漕ぎの
汗握る

（青　森）西谷　眞奈

「俳句部門」（一般）

金賞

水泳

競泳の
魚となるまで
泳ぎきる

（東京）大野　哲太郎

相撲

少年の
頬うつくしや
草すもう

（茨城）為我井　節

サッカー

青嵐
ゴールキーパー
横つ飛び

（愛媛）馬越　初子

軟式野球

背番号
なきユニフォーム
西日濃し

（愛媛）菅生　正恵

銀賞

陸上

サングラス
投げてランナー
スパートす

（東京）大野　哲太郎

水泳

ホイッスルや
瞬時プールの
水緊まる

（愛媛）坂本　貞子

山岳

淡雪の
ケルンに寮歌
合唱す

（神奈川）合志　龍彦

銀賞

剣　道

道場の
拭き込まれたる
涼しさよ

（愛媛）宮﨑　謙一

その他

九人が
座して円陣
炎天下

（愛媛）八木　紘子

銅賞

ハンドボール

秋高し
シュート一本
決まりけり

（愛媛）岡部　三和江

馬　術

天高し
凱旋の騎手
こぶし挙ぐ

（神奈川）合志　龍彦

スケート

イナバウアーとは
瀕死なる
白鳥か

（神奈川）合志　龍樹

相　撲

汗拭ふ
校庭隅の
ちゃんこ番

（愛知）城山　憲三

フェンシング

フルーレの
刹那新涼
貫けり

（愛媛）栗田　歩

入選

陸上

渾身の
槍が薫風
突き抜ける

（愛媛）和泉元　良彦

ボート

コックスの
檄に応えて
風光り

（愛媛）伊藤　修二

相撲

行く春の
土俵に一人
四股を踏む

（愛媛）横田　青天子

陸上

ランナーの
一団通過
銀杏降る

（茨城）鯨井　幸

テニス

風を打ち
太陽を打つ
テニスかな

（愛媛）篠原　みどり

山岳

明日登る
頂上に脱ぐ
登山帽

（茨城）植木　智子

水泳

寒泳の
子をバスタオル
拡げ待つ

（愛媛）三原　ゆたか

ラグビーフットボール

ラガーシャツ
西日のなかを
走り込む

（愛媛）芳谷　妙子

剣道

少年の
素振り百ぺん
夏木立

（岡山）植田　貞子

入選

剣　道

上段の
構えひらりと
夏燕

（愛媛）岡本　典子

ボウリング

稲妻や
一点ねらう
ボーリング

（茨城）杉島　紘子

馬　術

馬術部に
人参五貫
ほど届く

（宮城）関根　通紀

レスリング

マットの上
なぜか聞こえる
せみの声

（愛媛）越智　将希

軟式野球

白球を
とどめておりぬ
秋の空

（石川）吉野　麻子

スケート

腰低く
低く飛び出す
スケーター

（北海道）藤林　正則

「俳句部門」（ジュニア）

金賞

サッカー

汗まみれ
けって走って
パスまわす

（神奈川）新井　海斗

軟式野球

汗握り
投げたボールの
ド真ん中

（青森）川岸　蓮

バレーボール

おれのトス
秋空高く
あげてやる

（長崎）前田　涼輔

スキー

雪の中
登り終えると
君がいた

（愛知）大坪　拓矢

銀賞

陸上

秋風に
この身を乗せて
走り抜く

（埼玉）森田　裕紀

水泳

合宿が
終って皆
メガネザル

（愛媛）首藤　大和

バスケット

秋風に
願いを込めた
ロングパス

（愛媛）竹下　湧基

銀賞

ボウリング

ストライク
決めて爽快
秋涼し

（青森）工藤　菜々子

その他

かけっこで
四ばんになったよ
こすもすさん

（愛媛）古田　悠二郎

銅賞

陸上

秋晴れの
空を背面
跳びで見る

（青森）奥本　瑞生

体操

組体操
大きな拍手
秋の空

（愛媛）森　彩音

その他

甲子園
汗か涙か
わからない

（青森）熊谷　彩夏

水泳

夏休み
スナメリみたいに
泳ぎたい

（愛媛）別府　奏汰

バドミントン

閉める窓
シャトルと汗が
床に落ち

（愛知）渡邉　洋

入選

陸上

風光る
ゴールめがけて
一直線

（青森）宮川　恵梨加

サッカー

春の風
けって転がる
ボールかな

（埼玉）川村　佳己

山岳

雪渓の
地へ足跡を
残したり

（青森）横浜　彦太

水泳

せおよぎで
見あげるお空
つかめそう

（愛媛）石﨑　航羽

バレーボール

スパイクを
決めて勝利の
風薫る

（青森）船越　一輝

バドミントン

新年の
空に舞い飛ぶ
シャトルかな

（青森）東出　海

水泳

水しぶき
秋はちょっぴり
つめたいな

（愛媛）山内　真由

卓球

ラケットに
汗が伝わる
初試合

（長崎）左座　あゆみ

剣道

目の前の
トロフィーとれず
夏終わる

（愛媛）島本　こはく

入選

軟式野球

夏の空
白いボールが
飛んでゆく

（愛知）山田　悠也

軟式野球

風をきる
ぼくのバットと
赤とんぼ

（愛媛）山本　勢輔

軟式野球

なつ休み
やきゅうおうえん
じいちゃんと

（愛媛）和氣　菜々美

その他

朝顔が
咲くより早く
走りだす

（愛知）田中　駿太郎

その他

道場の
たたみ冷たい
秋のくれ

（愛媛）福崎　寿夏

その他

つな引きで
みんなで見上げた
秋の空

（愛媛）堀本　明里

「ハイブリット部門」入賞作品

春の風　ボールふわりと　敵かわす

（愛媛）藤原　利忠

汗みずく　むしゃぶり付くや　巨木の根

（愛媛）渡邉　龍太朗

金賞

●サッカー

金賞

●レスリング

銀賞

●陸　上

夏空を　仰いでバーを　越す背中

（愛媛）菅　伸明

銀賞

●陸　上

春立つや　児の足が母　追抜きし

（茨城）山縣　一

銀賞

●バレーボール

雲の峰　越えるくらいの　ジャンプかな

（愛媛）藤原　利忠

銅賞

●ラグビーフットボール

爽やかに　タックルかわす　風の中

（兵庫）小田　龍聖

銅賞

●剣　道

春の城　素振りの剣士　風を切る

（愛　媛）藤原　利忠

銅賞

●スキー

新雪に　足を慣らして　滑りけり

（千　葉）小田中　準一

銅賞

●その他

夏帽子　されど意地ある　青春期

（愛　媛）菅　伸明

過去の大賞受賞作品（俳句部門）

回	一般の部			ジュニアの部		
1	大いなる青嶺間近に弓を引く	青森県	阿久津凍河	バスケットかじかむ指がシュートする	愛媛県	田窪　千恵
2	グランドの土を袋に夏終わる	北海道	石川　旭峰	うでずもう互いの顔がさるになる	愛知県	矢島　蒼
3	爽やかに着地が決まる跳馬かな	沖縄県	多良間典男	挑戦者すべって転んで雪だるま	広島県	新開　真梨
4	減量のボクサー眼ぎらぎらと	神奈川県	竹澤　聡	かじかむ手ラケットだけは離さない	愛媛県	星加　里奈
5	初空に念じピン球一打せり	愛媛県	長井　初恵	夏の雲びしっときまるテニスかな	愛媛県	菅　凌也
6	ひた走りをり元朝の土佐礼子	愛媛県	北村　知江	せみがなくぎゃくてん勝ちでぼくもなく	愛媛県	坂井　亮太
7	冬晴れやレイズ岩村凱旋す	愛媛県	岩藤　富子	ラケットをためこんでうつ春の風	千葉県	松田　萌花
8	青野令飛んで世界の雪光る	愛媛県	篠崎　伶子	マラソンの足取り軽く春近し	愛媛県	中西ちなつ
9	調教を終へて少女が馬冷やす	北海道	江田　三峰	ボール投げ自己新記録天高し	愛媛県	竹田　拓斗
10	射撃手として秋風に正対す	神奈川県	竹澤　聡	スノボーで転んだ人にさし出す手	青森県	田中　未美
11	晩夏光サンドバックがビシと鳴る	愛媛県	三原　靖彦	なわとびがうまくとべたよあきのそら	愛媛県	武智　姫花

過去の大賞受賞作品（ハイブリット部門）

第1回
トライアスロン
泳者の飛沫（しぶき）
ほとばしる
（愛媛県）大野　直孝

第2回
炎天下
スタートを切る
息つめて
（愛媛県）谷口波詞雄

第3回
手くびより
太いつな引く
秋の風
（愛媛県）村田　涼

第4回
アンコール
友の声援
春まつり
（愛媛県）八木　重明

第5回
小春日に
地獄にヒタヒタ
忍び寄り
（愛媛県）大本　和彰

第6回
春風や
ふわりとバーを
超えてゆく
（愛媛県）菅　伸明

第7回
インコース
冷やりとひらりと
かわしけり
（愛媛県）藤原　利忠

第8回
天高く
吼えて騎馬武者
帽子狩り
（愛媛県）菅　貴久代

第9回
挙がらぬを
挙げる根性
光る汗
（愛媛県）菅　伸明

第10回
射抜かむや
最後の夏の
遠き的
（愛媛県）渡部　雅人

第11回
天を指す
一糸乱れぬ
秋の舞い
（千葉県）小田中準一

いまに満足せず、さらに次の最善をめざす。
Next Is the Best
一宮グループ
代表：一宮　捷宏
一宮グループ本部 〒792-8584 新居浜市西原町 2-4-34 TEL0897-34-3933 http://www.ichimiya.co.jp

柔軟な発想で魅力ある造船へ
IMAZO
今治造船株式會社
代表取締役会長 檜 垣 俊 幸　代表取締役社長 檜 垣 幸 人
本社・今治工場：〒799-2195 今治市小浦町１丁目４番52号　TEL(0898)36-5000
丸亀事業本部・西条工場・東京支社・阪神事務所・アムステルダム事務所

「愛」ある街のホームドクター
愛媛信用金庫
〒790-0002 愛媛県松山市二番町４丁目２番地 11
TEL：(089)946-1111㈹　http://www.shinkin.co.jp/ehime/

大亀スポーツ振興財団は、
愛媛におけるスポーツの発展に努め、
愛媛を基盤に活躍する人たちや団体を支援します。

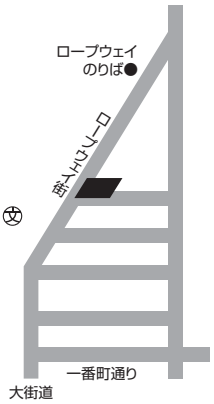
公益財団法人　大亀スポーツ振興財団

理事長　大亀　孝裕

〒791−8517 松山市美沢1−9−1
TEL(089)927−1660　http://www.daiki-grp.co.jp/zaidan/index.htm

えひめ愛顔(えがお)の
観光物産館

開館時間／午前9時～午後6時
休 館 日／水曜日(但し、祝祭日の場合は開館)
年末年始(12/29～1/3)
観光部門 TEL.089-961-4500
物産部門 TEL.089-961-4501
愛媛県松山市大街道3丁目6-1(岡崎産業ビル1階)
えひめ愛顔の観光物産館 http://www.iyonet.com/ 検索
(社)愛媛県観光物産協会



日本食研

日本食研ホールディングス株式会社
代表取締役会長 大沢 一彦　代表取締役社長 大沢 哲也

愛媛本社　愛媛県今治市富田新港１丁目３番地　TEL：0898-24-1881
千葉本社　千葉県印旛郡栄町矢口神明３丁目１番地　TEL：0476-95-8501
http://www.nihonshokken.co.jp/

ご満足から感動へ
私たちは出会いを大切にしております

東京第一ホテル松山

〒790−0006 愛媛県松山市南堀端町6−16
TEL：089−947−4411 FAX：089−947−4420
http://www.td-mat.co.jp/

創業慶応三年
山田屋まんじゅう

フリーダイヤル 0120-784818
http://yamadayamanju.jp

特殊紙の
三木特種製紙株式会社

代表取締役社長 三木雅人

本　　社／愛媛県四国中央市川之江町156 TEL (0896)58-3373
FAX (0896)58-2105
東京営業所／東京都台東区上野1-18-11　TEL (03)3835-2939
E-mail info@mikitoku.co.jp　URL http://www.mikitoku.co.jp

ひめぎん
愛媛銀行
頭取 本田元広
松山市勝山町二丁目１番地　TEL089－933－1111㈹

4.14 Orange day
ふたりで、みんなで。
4月14日は「オレンジデー」です。
オレンジは愛のシンボル。
大切な人とオレンジを贈り合って
愛を深めませんか？
「愛のオレンジロード」展開中！
詳しくはWEBで 愛のオレンジロード 検索
JA全農えひめ
http://www.eh.zennoh.or.jp

六時屋
本店／松山市勝山町2－18－8
TEL.089-941-6666㈹ FAX.089-941-6667
0120-14-6948（いよろくじや）

みきゃん

第17回全国障害者スポーツ大会